



緑のまち

第2号 昭和63年7月25日

発行 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内
電話 0425(85)1111 内線265、266 (題字揮毫は森田喜美男市長)



緑は市民の合言葉

(応募標語集より)

自然観察会のひとこま 4.24

楽しかった自然観察会

副会長 田中紀子

前日より5°C低い10°Cという朝の気温であったが、快晴にめぐまれ絶好の日和。最初の薬土寺では野鳥の宝庫といわれた寺社林が無残に伐採されており、一同啞然とする。しかし次の日野宮神社では、美事な檜並木の参道と境内の檜の大木にほっとした。日野新田を過ぎ、多摩川に削られた段丘を眺めながら、多摩川の土手に上り、飯島先生からヒノクジラの化石の話を聞く。約二〇〇万年もの昔を偲びながら成就院へ向う。安産薬師や念仏の徳本上人の碑を見た後、日野用水にそって取水堰まで行く。この日は昔ながらに用水組合の人達が堀さらいをしていた。日野用水や名主佐藤隼人の話などをしながら、東光寺地区センターへ辿りつき昼食をとる。

午後は、神明社を経て、七ツ塚古墳古刀比羅宮、日奉城址等を見学後、東光寺緑地の尾根道を歩く。ワダソウ、ニンソウ、ヒトリシズカ、カタクリ等がひっそりと咲いていた。最後に雑木林再生目的につくられた炭窯について檜山公園緑政課長さんから説明を伺い散会した。

(4ページの表参照)

創立二年目を迎えて

会長 萱嶋 泉

日野市環境緑化協会では、去る4月9日に第二回定期総会を開催しました。

議題は、62年度事業・決算報告および63年度事業計画・予算でありました。この協会の会員は全市民ですから終始熱心な討議がなされ、実り多い総会となりました。そのあと記念講演として、多摩動物公園々長矢島稔先生から「自然のしくみと昆虫のくらし」と題する意義深いお話を拝聴することができました。先生は「自然のしくみがきちんと

機関紙一号の発行に寄せて

日野市長 森田 喜美男

しているけれども昆虫の本来のくらしはない」と強調され、さらにご自分の研究の中から多くの事例を引用してわかりやすく説明され、特に、美しいスライドを通して、先生の自然と生物に対する熱いお考えを理解することができました。これまでは、すべて公園緑政課のご指導を仰ぎつ、仕事をす、めてきました。が、今後は協会本来の使命にのっとり、全市民と手を組んで、新しい「緑のまちづくり」の方法を考えて、少しづつ、でも実行に移し

市報に公募し、二ヶ年間の緑化市民会議による討議を経て、昨年春、日野市環境緑化協会が発足しております。全市民に会員になっていただくしくみの市民運動団体です。まちにみどりと清流を、くらしに花とうるおいを、のキヤッチフレーズは日野市民共有の合言葉になっていますが、そのための住民運動と事業活動の実践が目的とされているものです。日野市では都市計画の重要な柱として、市内に残っている緑地の保全と市街地にも緑

市民ひとりひとりが…4・10



ていきたいと考えています。そのため、来る8月26日午後市役所505会議室において日野市環境緑化市民会議を開催します。市民皆様のご参加をお待ちしております。私達の使命は 4・9



と公有化、緑地信託制度、都市農業の振興など緑を守り、ふやす事業に大きく力点を置いてまちづくりをすすめていきます。

市民のみなさんにも緑への関心と運動や行事にご参加いただき、恵まれている水辺環境と併せ、自然と人の調和するまちを将来に引き継ぎたいと考えます。そのような環境への努力こそ、ゆたかな人間性が育ち思いやりある福祉の風土が出来上って行くことでしょう。

市のみどり行政と呼応して、環境緑化協会のご活躍を期待いたします。



自然のしくみとは…4・9

会報の名前は「緑のまち」に

創刊号(62・6・25)での呼びかけに対して、次の53点の応募があり、そのうちグリーンタウンⅡ緑のまちにきまりました。58年制定の市歌と同じです。そのメロディは市庁舎から日に3回(8、12、6各正時)そよ風に乗ってさわやかに流れています。ご応募ありがとうございました。

- みどり
- みどり通信
- 木洩れ陽(こもれば)
- みどりの輪
- 緑のなかま
- 自然とみどり
- 街とみどり
- みどりだより
- みどりはいのち
- みどりの日野
- みどりのみどり
- みどりの日野市
- ひのとみどり
- 日野の源(みなもと)
- 日野樹(ひのき)
- みどり
- 未来(みらい)
- さわやか
- さわやか通信
- 樅の木(カヤの木)
- こずえ
- ひこばえ
- かがやき
- オアシス
- ひのめ
- カヤ
- 緑環
- 紺碧

◎グリーンタウン

グリーンフラワー

わかば

若葉

新緑

新緑号

緑和

緑陰

万緑

緑地帯

翠光

翠風

四季

四季の花

ゆたか

のぞみ

ふたば

やすらぎ

あしたば

せせらぎ

クローバー

そよ風

泉

春の緑化月間行事

行事名	月日	場所	内容
入園・入学記念植樹	4月4日～11日	保育園、幼稚園、小・中学校 55か所	しだれもも ほか 41種 56本
家庭緑化の日	4月10日	日野中央公園	1. 苗木(球根)配布 午前 ゲッケイジュ、アンズ 午後 ライラック、球根(グリア、カンナ) 2. 花とみどりの健康相談 3. 草花、庭木、肥料等の即売 4. 図書等販売 5. 緑の羽根募金
園芸講習会	第1部 4月15日 第2部 4月26日	中央公民館 同上	第1部 「クジャクサボテンの育て方、楽しみ方」 講師 土方 誠 第2部 「西洋アジサイのすべて」 講師 石坂 昇
地域緑化 地域清掃の日	4月17日	学校・緑地・公園等	1. 地域緑化 1) 平山古小学校 2) 第八小学校 3) 平山小学校 4) 百草古小学校 2. 地域清掃 1) 旭が丘グリーンベルト 2) 東光寺緑地 3) 東豊田緑地保全地域 4) 七生丘陵散策路 5) 吹上公園ほか
自然観察会	4月24日	日野駅～四谷～成就院 ～日野用水取水口～ 七ツ塚公園～東光寺緑地	テーマ 「晩春の東光寺詩ね歩き」 ～自然と史蹟と炭やきと～
盆栽・山野草展	4月8日～10日	本庁舎 101会議室	春の盆栽と山野草の展示
パネル展	4月1日～30日	本庁舎 1階 市民ホール	テーマ「春に競う日野の花たち」

主催・日野市環境緑化協会 後援・日野市

春の緑化月間行事

天候に恵まれた今年の行事には、春植え球根の配布、市花丹生産組合員による園芸講習会、植物に歴史と文化を加えた観察会等新しい試みを入れられました。参加した市民の皆さんから次のような意見や感想が寄せられました。

市民の声から：

各行事への要望

○苗木・球根配布
早目に引換券を渡して、配布までの間、四季の草花のイラストを放映したり、アンケートを書いたり出来る場を作り待ち時間を有効に使う工夫を。配布を受ける私達市民も一人

期間 昭和63年4月1日～4月30日
テーマ まちに緑と清流を！
くらしに花とるおいを！

一点を守り、自分さえよければという考え方はやめたい。会場が遠い為来られない市民への考慮も必要。

○園芸講習会
質問時間をもう少し長く。今回の応用編とあわせて、「植物と土」のような基礎講座も設けてほしい。

○自然観察会
人数が多く、いくつかのグループに分れてしまう事があったので、解説者を増やして、2班にし全員説明を聞けるようにしたかどうか。
○全体を通して、若い人達も参加したくなるような魅力のある行事を希望する。

ゲッケイジュをどうぞ 4・10



最後に総会の時の多摩動物公園矢島先生の記念講演「自然のしくみと……」は好企画で感動しました。ぜひ、このような機会を数多く作って下さい。 平山 叶内大助

多摩平喜楽会 (多摩平第一公園) 4・17



自然観察会に参加して

此の町に住みながら、こんなに好い所がたくさんある事を改めて知りました。お鷹場跡、ヒノクシラの化石の出た所、珍らしい桂垣、弁天様跡の梢の下には小さな水鉢が残っていました。

弁天の水鉢覆ふ若葉かな
東光寺には七ツ塚古墳があり塚には草木瓜が、隣の畑には此の地特産の東光寺大根が花盛りでした。

七塚に隣る一畝大根花
東光寺緑地の雑木林には、カタクリ、一輪草、二輪草が群生、また、この林の萌芽更新した木で川の清流を取り戻す為の炭焼窯もあり、市や緑化協会の自然を守る熱意を知り、史蹟、植物、地質それぞれ専門の先生方の解り易い説明で有意義な一日を過ごせていたのだいた事に感謝しつつ、高幡山の見える家路につきました。

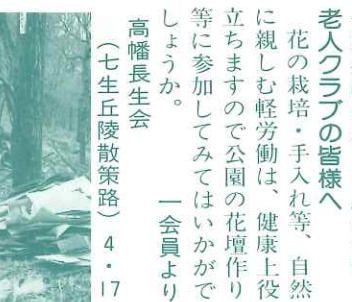
みなれたる塔へ青葉の限りなく
南平 吉田 かよ

植物写真パネル展を見て
○ケマルバスマシレがとっても印象的だ。やはり写真はでっかく撮った方がよい。
○一日一万歩を心がけて3年たちました。土の上を歩きたいので、雑木林やたんぼ道さえらんで歩いていきます。いつも見慣れている野の草木が、今日の展示をみて、ああそうだったのかとよくわかり、うれしかったです。写真集として発行して下さい。

○ああ春だと実感した。夏秋冬の植物パネルも是非見たい。○すばらしい写真でした。購入したい。はがき様式でも可。
○常時展示を希望する。

○花の名を漢字で記載すると一層興味がわくと思います。
老人クラブの皆様へ
花の栽培・手入れ等、自然に親しむ軽労働は、健康上役立ちますので公園の花壇作り等に参加してみたいかがでしようか。 一会員より
高幡長生会 (七生丘陵散策路) 4・17

高幡長生会 (七生丘陵散策路) 4・17



高幡長生会 (七生丘陵散策路) 4・17

日野市環境緑化協会会則 (抜粋)

(目的)

第2条 この協会は、日野市民総ぐるみにより市内の緑化を推進し、緑と清流のあるうるおい豊かな都市環境づくりを目的とします。

(事業)

第3条 この協会は、前条の目的を達成するため、次の事業等を行います。
(1)緑化推進のための普及啓発
(2)緑化推進のための実践事業
(3)緑化推進のための調査活動
(4)その他、諸団体との交流と協力等、協会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第4条 この協会の会員は、市内に在住、在勤、在学する人及び自治会並びに市内に所在する各種団体、会社、事業所、学校等で、この協会の目的に賛同して入会する個人及び団体等とします。

(理事)

第5条 この協会に理事20人以内を置きます。
2 理事は、会員(団体等にあつては、団体等から選任された人)の互選とします。
3 理事の任期は、2年とします。ただし、再任を妨げません。

(経費)

第12条 この協会の経費は、補助金及びその他の収入をもって充てます。

役員名簿

Table with 3 columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 所属 (Affiliation). Lists board members including 会長 董 嶋 泉, 副会長 柴 崎 亮 助, etc.

菊の作業は、まず、さし芽の一週間前に肥料の袋詰めやラベル作りが行われ、当日は菊の新芽を摘み、それに発根剤をつけ、赤玉の粉をまぶし、あらかじめ用意した小さなポットの苗床にさします。

皆さん和気あいあいの作業ですが、病虫害にやられないよう前日に消毒剤をまいたり、抜う時は手をきれいにし、床に落したさし穂は廃棄するなど細かい神経の使い様です。今まで何気なく載っていた

カサ菊の苗作りを手伝って

配布の菊苗にこんなご苦労があったのを知り、大切に育てねばと思いました。そして自分の手がけた菊に、見事に根が出て、配布を受けた方々に可愛がって育てられ、楽しんで載けることを願わずにはいられない思いになりました。

西平山 山崎 鈴子

緑の羽根募金集計

市内各自治会、老人クラブ事業所等の皆様のご協力を感謝いたします。

- ▼募金総額213万9千505円
▼内訳▶自治会：41万2千137円
▶老人クラブ：16万9千125円
▶市立小学校：3万3千517円
▶私立幼稚園・保育園：4万7千946円
▶団体・事業所：119万9千430円
▶街頭募金：12万7千521円
▶市役所機関：14万9千829円

この還元金を市内の緑化事業に活用いたします。ありがとうございます。

緑の羽根募金運動に参加して

私は二回募金活動をしました。始めは不安な気持ちでしたがみなさんが募金して下さるたびに勇気がわいてきました。目の見えない方など、いろいろな人にも関わってうれしかったです。また手伝いたいと思います。

黒川子ども会自然観察部
市立五小 高尾 礼子



わたし達の作品です 62・11・7

4月10日のアンケート

苗木等の配布時のアンケート(来年の希望樹種)の結果
①カリン ②黄花モクレン
③ハナカイドウ ④オトメリ
ととなりました。

花とみどりの健康相談

毎月一回(菊花は二回)日野中央公園南側緑化センターで相談会を開催しています。詳細は毎月1日発行の「広報ひの」をご覧ください。

市の花「きく」だよ

市では毎年2万本以上のきくの苗を育てて、市民、学校等に配布し、11月にはコンテストを開催しています。

8月13日市内3カ所でポットマム、スプレীগクの苗を配る予定です。場所、時間等は「広報ひの」8月1日号に掲載します。ご近所お誘いあわせてお出かけ下さい。

緑の羽根を



作者紹介

表紙のスケッチは岩崎輝寿さんの作。建築会社勤務の日曜画家で日野走友会の副会長。得意の「足」で市全域を訪ね、先年「日野百景」を完成、中央図書館で発表されました。

編集のあとに

会報の名前もきまっております。委員一同より親しまれる内容にと苦心したのですが、いかがでしょうか。題字を森田市長にお願いしたところ、快く書いていただきました。

緑を市民の合言葉として誕生した市民の協会を一層充実したものにしようとして頑張っています。皆様のご意見、ご要望を心からお待ちしています。(編集委員)〇印は委員長

- 田中紀子 片岡 尤二
高橋英昭 永原照雄
伊藤正吉 浅井綾子
小澤義文